

ごあいさつ



平素より、呉信用金庫に対し、格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第96期（2020年度）の業務の状況を取りまとめましたので、ご高覧いただき、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

2020年度を振り返りますと、国内経済は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う企業の生産活動の大幅な縮小や個人消費の冷え込み等の影響を受け、急激に減速しました。

呉市を中心とした当地域は、製造業や建設業等の一部業種において年後半にかけて業績は回復基調にありましたが、多くの企業では未だ新型コロナウイルス感染症の影響が深刻な状況にあり、加えて大手製鉄所の撤退に向けた動きが表面化しつつあるなど、厳しさを増している状況にあります。

こうした中、当金庫はおかげさまで2020年9月に創立95周年を迎えることができました。これも偏に、地域の皆さまの永年に亘るご支援、ご愛顧の賜物と感謝する次第でございます。

さて、中期経営計画「“くれしん”の革新『リレーションアップ バンキング』」の最終年度にあたる2020年度は、お客さまや地域との接点・リレーションを大切にすることを活動テーマに掲げて取り組んでまいりました。

法人・個人事業者のお客さまには、大手製鉄所の撤退発表や新型コロナウイルスの影響を受けられている方々へ迅速な金融支援を行うとともに、「呉市ビジネスモデル転換支援事業」の事務局業務や「呉・江田島Grow upプロジェクト！」等を通じて、売上増加や販路拡大などの本業支援に努めてまいりました。

個人のお客さまには、非対面取引の機能拡充を目的として、ホームページの全面リニューアルによる視認性・操作性の向上やセキュリティ強化への対応を図ると共に、バンキングアプリの機能拡大、ローンセンターの体制強化、Web完結の商品ラインナップを充実させたほか、本通支店をリニューアルするなど、利便性向上に取り組んでまいりました。

その結果、2020年度の業績は、貸出金は8期連続で増加し4,423億円、預金積金は4期連続で増加し7,805億円となり、当期純利益を7億円計上することができました。

なお、2020年度は新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、講演会や各種スポーツ大会の開催は断念せざるを得ませんでした。広島市のサッカースタジアム建設に係る寄附をはじめ、美術展の開催等の文化・芸術活動の振興を通じて地域との絆を深めるなど、幅広い社会貢献活動に取り組んでまいりました。

これからも、お客さまや地域とのリレーションを大切にし、お客さまに寄り添った「伴走型」の営業活動を経営の中心に据え、創立100周年に向けて地域社会の発展・繁栄に貢献できるよう役職員一丸となって取り組んでまいります。

引続きご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2021年7月

理事長

向井淳滋